

平成 30 年度岡山大学農学部愛媛県支部同窓会

第 4 回目となる農学部愛媛県支部同窓会が平成 30 年 6 月 30 日、松山市「リジェール松山」で開催されました。4 回目となりマンネリ化とともに参加者が減少するのではないかと心配していましたが、新たに若手 2 名と来賓の門田農学部長、田原副学長が駆けつけていただき総勢 27 名の参加となりました。

今年も進行は河野さん（昭和 62 年卒）。私の開会挨拶でスタート。今年が最後となる門田学部長の来賓祝辞では、「国際化に向けた留学制度等による人材の育成を進めている岡大のグローバルディスカバリープログラムで少子化の時代を生き残れる大学をめざしている」と報告がありました。

その後、平成 6 年卒三浦工業の高井さんから「私の履歴書―農学部からボイラーの会社へ―」と題して記念講演があり、実家は兼業農家で父親が井関農機に勤めていたことから農業の機械化への思い出に始まり、農学部を選んだ理由は「これからはバイオテクノロジーの時代である」との思いから、そして三浦工業では主力のボイラー事業でなくこれから伸びる可能性の高い「アクア事業の技術開発」に取り組み、現在は後輩の野上さん（平成 7 年卒）、藤井さん（平成 10 年卒）とともに同窓生がこの部門をリードしていること、またこの同窓会では恩師の上村教授と同級生の諏訪世話人（昭和 52 年卒）との出会い、父親の同僚である井関農機先輩の酒井さん（昭和 50 年卒）、寺山さん（昭和 52 年卒）とのつながり等、新たな絆を実感していることを明快に話されました。

恒例の記念写真は今年も高井さんが担当。乾杯の挨拶では田原副学長から「2 年後には個別能力を高める入試に変わることを、記念講演では地元の三浦工業がアクア事業で卒業生の方々がいろいろな形で関わっておられることがよくわかり、これからの社会で地域を支えていく一つの活動としてこのような同窓会の集いは大切である」と感想をいただいた後開宴となりました。

今年も年齢順に配置したそれぞれのテーブルでは、農学部卒とあって農業・食品関係の仕事に従事した方が多く、テーブル間の行き来も含めて、お互いの近況報告や懐かしい大学時代の昔話、農業現場が抱える話題などを酒の肴に盛り上がりました。奈尾さん（昭和 62 年卒）による「学生歌斉唱」のあと、昨年参加した澤田さん（平成 27 年卒）の誘いで今年初参加の玉井さん（平成 27 年卒）、田阪さん（平成 30 年卒）からは今や恒例の自己紹介。我々が忘れつつあるフレッシュさ（？）を感じました。その後、全員が思い思いの自己紹介もマイクリレーで行い、引き続き、和やかに歓談が進みました。

宴もたけなわの 6 時 10 分ごろには来賓をお見送りした後、締めくくりのイベントとして、今年も藤井さんがこの会のますますの隆盛を祈念して元気よく「万歳三唱」の音頭を取りました。

さらに今年は初めて二次会を企画したところ、予想以上の 14 名が参加。マイク片手のカラオケ合戦、さらなる交流も深まり成功裏に同窓会が終了しました。年に 1 度ではありますが、同窓生の輪が広がる楽しい雰囲気終始し、松山までご足労いただいた先生方をはじめ、皆さんに感謝する大変満足な会となり、参加者からは「来年もぜひ会おう」との力強い発言をいただきました。

【当日の写真】



来賓祝辞_門田先生



乾杯



A テーブル



記念講演_高井さん



乾杯_田原先生



門田先生と田原先生